

2018年度森林公園だより No.5 2018年5月4日

GW後半は不安定な天候が続いていて、5月4日は朝から雨が降り風も冷たいです。天候が回復した後の森林は、木々が生き生きとし、花の香りも一層引き立つ気がします。P3から桜園への道は深緑のモミジのトンネルを抜け、明るい桜の木立の中を散策できます。キリの花が咲き、フジの花は最盛期を迎えています。トチ、アズキナシの花も各所で見られます。森林学習展示館横のヒラドツツジが見ごろを迎えました。森林学習展示館は本日開館です。展示物の見学や、トイレ休憩などにご利用ください。

- ・ナミアゲハ、カラスアゲハ、ウスバシロチョウを確認しました。
- ・例年よりも少ないですが、ウグイスのさえずりも楽しめます。

ヒラドツツジ(森林学習展示館近く) P3から桜園へ



桜園内



キリの花



フジの花



トチの花



タニウツギ



マムシグサ



ベニタケの仲間(菌根菌)



ヤマカガシ(交通事故死)



一口メモ

ヤマカガシは昔は無毒のヘビと考えられていましたが、1970年代の死亡事故により、**有毒種**と認知されるようになりました。それまで無毒とされたのは毒牙が小さくアゴの奥にあるため、噛まれても毒が注入されないことが多かったためといわれています。そのことを確かめるため轢死したヤマカガシのアゴを確認したところ、小さく、またノドの奥の方に向いた牙を確認しました。確かに毒が注入されにくい構造になっていると感じました。なお、首にも毒腺はあります。ヤマカガシを見ても慌てず、そっとしておけば逃げていきますのでご安心ください。